

## 令和3年度後期 学群教育改善計画

学 群 名	基盤教育群
学 群 長 名	平岡善浩

1-①. 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。

※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。

①	課 題	【継続・追加】講堂での講義において、ステージ設備や客席の構造上、講義スタイル、試験方法の制約が生じた。加えて、出席管理の難しさについても指摘があった。また、太白キャンパスのメモリアルホールの講義環境について、音響の問題や板書がしにくいなどの指摘があった。
①	理 由	板書が出来ない、筆記試験が出来ない、学生とのオーラルコミュニケーションや、ペーパー配布回収が難しいこと、また、出席をどのように取るか、など、従来の講義方法からの変更を余儀なくされ、オンラインツールとの併用により担当教員が対応している。太白キャンパスのメモリアルホールについては、受講者数に比べてスペースが広く、後方部に着席されるとスクリーンや板書が見えない。音響も良くなく講師の声が聞こえにくい状況が報告されている。
②	課 題	教授方法の多様化や事前事後学修の増加に対応できるテキストおよび教材の効果的な提供ができていない科目。学生に対するレスポンス（質問対応、レポート返却）が丁寧でない科目など、教員の対応力に応じて受講生の評価に差がある。
②	理 由	テキストや教材は LMS 活用に伴い工夫が進み充実傾向にあるが、各回の講義内容や事前事後学修に適したレベルや量が考慮されるべき。またオンラインを活用した質問へのレスポンスも学生の意欲を高める傾向にあり、双方向コミュニケーションが望まれる。また講義動画を残して事後学修の参考にさせることも評価が高かった。
③	課 題	PC スキルの有無や高校の選択科目の違いによる知識量の違いなど、科目によっては受講生の初期条件の違いや得手不得手によって講義の理解度に差が生まれている。
③	理 由	科目の前提となる基礎を知らない学生に対する説明のために時間を取られ、授業計画の遅れが起こったりしているの で、そのような学生に向けた教材や参考図書の紹介などが必要。

1-②. 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。

①	講堂での講義については講義実績も積まれたので、ニーズや使い勝手について意見を聴取し、学務課および財務課と相談、改善が必要などところについて要望を提出する。出席管理のための顔認証システムの導入などハードウェア整備による対応も要検討だが、個別ニーズ対応のために機器類の整備や操作が煩雑になるのは望ましくない。現状のLMSやオンラインコミュニケーション、授業方法の工夫などソフト対応でどこまでできるか、ノウハウの共有が必要と思われる。また、太白キャンパスのメモリアルホールの実情について、実際講義を行われた教員に状況を伺い、関係各署と改善策を図る。
②	学生の評価が高く、テキストや教材、双方向コミュニケーションなどを工夫している科目の教員に、その方法の紹介や簡単な模擬講義をお願いし、どんな点が学生の理解度や意欲を挙げているのか、マイクロFDなどを企画する。教員会議の機会などに簡単に説明していただく程度でも。
③	複数の科目が似たような状況にあるようなので、前提となる基礎スキルや基礎知識が足りない受講生に対しての対応について、講義内での説明もしくは教材配布、参考図書の紹介など、タイミングに応じてどのような指導が有効なのか、取り組みやアイデアを教員会議などの機会を利用して共有する。

2-①. 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。

【教材・配布資料】網羅的で関連資料を集めたような資料だけでなく、各回の講義のポイントをわかりやすく説明し、演習と合わせた資料の評価が高い。【双方向コミュニケーションについて】個別質問→個別回答より、個別質問→全員に対して回答共有の方法の評価が高い。

2-②. 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。

【教材・配布資料】【双方向コミュニケーション】【出席確認方法】における参考となる取り組みを、教授会（教員会議）もしくはマイクロFDなどの機会に少しずつ継続的に共有する機会を設けたい。毎月教授会もしくは教員会議の機会に10～15分くらい、マイクロFDの機会として実施するなど、準備も簡単に。